

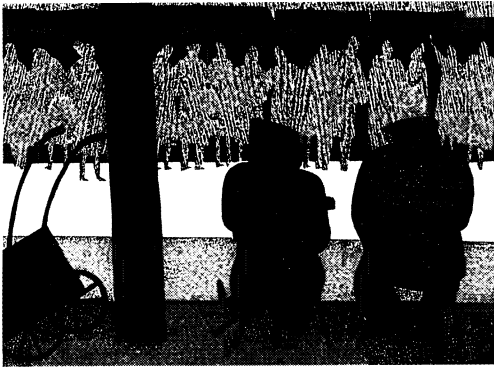
企画展

斎藤清の全貌展

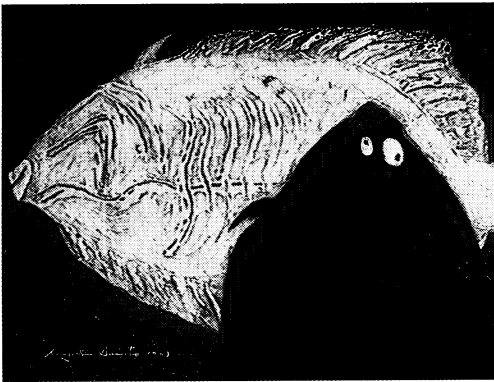
第二部 表現と技法：7月19日(土)～8月24日(日)

休館日：毎週月曜日(7/21(祝)は開館)および7/22(火)

美術館だより



「本屋、セーヌ、パリ」
1960年 木版 福島県立美術館蔵



「凝視」
1963年 コラグラフ 福島県立美術館蔵



「景 福宮」
1970年 墨画 三重県立美術館蔵

福島県の会津坂下町に生まれた斎藤清（1907年生まれ）は、戦後日本の版画界を代表する作家の一人です。1951年、日本人として初めてサンパウロ・ビエンナーレ展で受賞して以来、国際的に高い評価を得るようになりました。日本の木版画の伝統的な技法を生かしながら、新しい表現の可能性を切り拓くとともに、コラグラフや墨画などにも取り組み、独自の世界を繰り広げています。

今回の展覧会は、今年卒寿を迎えた斎藤清の画業の全貌をご紹介します。第一部・70年の歩みに引き続き、第二部では質感（マチエール）、形と構図、装飾という3つの観点からその多様な表現の特徴を捉え直し、作品の魅力に迫ります。



「凝視(猫)」
1948年 木版 福島県立美術館蔵

観覧料〇

一般・大学生＝840円(680円)／高校生＝630円(470円)
小・中学生＝420円(310円) ※()内は20名以上の団体料金
ギャラリーートーフ〇 7/25(金)14:00、8/9(土)11:00